



联合国  
粮食及  
农业组织

FOOD AND  
AGRICULTURE  
ORGANIZATION  
OF THE  
UNITED NATIONS

ORGANISATION  
DES NATIONS  
UNIES POUR  
L'ALIMENTATION  
ET L'AGRICULTURE

ORGANIZACION  
DE LAS NACIONES  
UNIDAS PARA  
LA AGRICULTURA  
Y LA ALIMENTACION

منظمة  
الغذية  
والزراعة  
للأمم  
المتحدة

Liaison Office in Japan  
5F Yokohama International Organizations Center, Pacifico-Yokohama,  
1-1-1, Minato Mirai, Nishi-ku, Yokohama 220-0012, Japan

Tel. (045) 222-1101  
Facsimile: (045) 222-1103  
E-Mail Address: FAO-LOJA@FAO.ORG

LOJAPR07/07-No.98

プレスリリース

FAO (国際連合食糧農業機関) 日本事務所  
2007年7月4日

## 「OECD-FAO 農業アウトルック 2007-2016」発表

バイオ燃料の需要増により、農産物価格上昇の見込み

(仮訳)

7月4日(パリ・ローマ発)：バイオ燃料生産向け原材料の需要増は、農産物市場に構造的変化をもたらし、多くの世界の農産物価格を引き上げる見込みがある、と4日に OECD-FAO が発表した。

OECD と FAO が発表した「農業アウトルック 2007-2016」によると、農業一次産品の価格が堅調に推移しているのは、主に小麦生産地での干ばつなどの一時的な要因や在庫の減少によるものである。しかし、長期的に見ると、今後十年間は多くの農産物の価格が歴史的な均衡水準を上回り続ける方向で構造的変化が進んでいるとした。

余剰農産物や輸出補助金の減少も長期的変化を引き起こす要因である。しかし、さらにもっと重要なのは、化石燃料の代用品としてのエタノールやバイオディーゼル生産のため、穀物、砂糖、油糧種子と植物油の需要が増え続けている点である。このため、穀物価格が底上げされ、間接的には家畜飼料の価格上昇を通じて、家畜生産品の価格上昇にもつながっている。

2006-2016 年の間に、米国ではトウモロコシで製造したエタノールの年間生産量は二倍になると予測されている。また、欧州連合では、バイオ燃料のための油糧種子生産量はわずか 1 千万トンから 2 千百万トンになると想定されている。ブラジルでの年間エタノール生産量は 2016 年までに現在の 210 億リットルから 440 億リットルへ伸びると予測されている。同じく中国での年間のエタノール生産量は、現時点の水準より 20 億リットルも伸び、38 億リットルに増加すると推定している。

一次産品の価格上昇は、純食料輸入国と都市部貧困層にとって大きな懸念材料となると本報告は指摘している。さらに、バイオ燃料向け原材料の価格上昇は、こうした原材料の生産者の所得を増加させる一方、他方では家畜飼料として同じ原材料を使用する畜産農家にとってはコストの上昇と所得の低下を意味する。

## 貿易パターン

本報告では、また貿易パターンが変化していると述べている。開発途上国で一般的な農作物の生産と消費は先進国よりも伸び率が高いと予測されている。中でも、牛肉、豚肉、脱脂粉乳や砂糖にその傾向が顕著である。OECD 諸国は多くの一次生産品でその輸出シェアを下げるものと予想されるが、それにもかかわらず、小麦、粗粒穀物や乳製品の輸出シェアを大きく占め続けていく、と予測される。

世界の輸入を基準にして分析すると、世界の農業貿易は主な一次産品に関するの伸びが見込まれる。しかし、貿易の伸びが輸入制限に影響されるため、非農業貿易の成長よりも少ないと推定される。それにもかかわらず、今後 10 年間に於いて、牛肉、豚肉や全脂粉乳については 50% 強の伸び、粗粒穀物については 13%、そして小麦に関しては 17% の伸びとなる。植物油については約 70% の伸びとなる、と見られている。

■ 2007 7/4 F A O プレスリリースより ( 英 ) [www.fao.org/newsroom/en/news/2007/1000620/index.html](http://www.fao.org/newsroom/en/news/2007/1000620/index.html)

■ 「OECD-FAO 農業アウトルック 2007-2016」(OECD ウェブサイト: 英)

(英語の農業アウトルック 2007)

<http://www.oecd.org/dataoecd/6/10/38893266.pdf>

(フランス語の農業アウトルック 2007):

<http://www.oecd.org/dataoecd/7/44/38896704.pdf>

問い合わせ先: FAO 日本事務所 国安、宮道 TEL: 045-222-1101 FAX: 045-222-1103  
〒220-0012 横浜市西区みなとみらい1-1-1 パシフィコ横浜 横浜国際協力センター5F [www.fao.or.jp](http://www.fao.or.jp)